

第 18 回国際市民スポーツ連盟オリムピアド大会報告

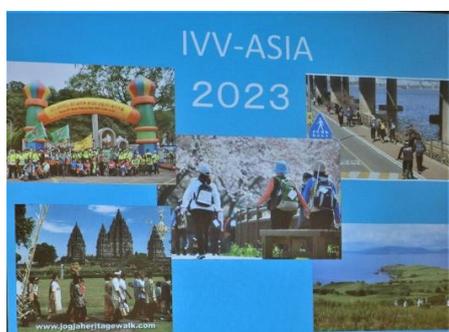
第 18 回国際市民スポーツ連盟オリムピアド大会は 2023 年 2 月 20 日月曜日～23 日木曜日の 4 日間、世界の 27 カ国から 1100 人以上の参加者を集めて米国テキサス州サンアントニオ市で開催されました。アジアからも約 40 人、欧州からも 250 人ものウォーカーが集まりました。サンアントニオ市は 2015 年に世界遺産に登録された「アラモの砦」さらにはダウンタウンを取り巻くように設置された運河と遊歩道の「リバーウォーク」で知られています。



2 月 19 日日曜日（大会前日）

アジア市民スポーツ連盟

大会前日朝 8 時から、大会本部の置かれている La Quinta hotel において国際市民スポーツ連盟 (IVV) のアジア組織であるアジア市民スポーツ連盟 (IVV-ASIA) の総会が IVV の会長はじめ執行部が参加して開催されました。そして、任期の終了した宮下充正 IVV-ASIA 会長の後任として日本市民スポーツ連盟川内基裕会長が選任され、国際市民スポーツ連盟理事 (アジア代表) も兼任することになりました。



コミュニティウォーキング

大会前日ウォークとして、サンアントニオ市の歴史建物保存地区である King Williams 地区を歩きました。「風と共に去りぬ」に出てくるような荘園建築の邸宅が並ぶ 1 画です。家の前にはアメリカ合衆国の国旗とともにテキサス共和国の旗を掲げているお宅もありました。



フラッグパレード ～ 開会式

開会式の前には参加各国が自国の国旗を掲げて更新するフラッグパレードがありました。パレードは King Williams 地区からダウンタウン La Villita 地区の運河沿いにあるアーネソン野外劇場まで進み、開会式が催行されました。





大会当日（ 20日～23日 ）

大会は5km, 6km, 10km, 21kmのwalkingと自転車（2日目3日目）水泳（2日目3日目）
22日には42kmのマラソンウォークもありました。マラソンもタイムは競わず、チーム全員
の完歩を目指します。

朝 La Quinta Hotel 内にある本部会場は7時に開きます。英語、ドイツ語、スペイン語
などの各国語で書かれたその日のコース地図をもらってスタートです。曲がり角



には矢印による案内もありましたが、日本のウォーキングのように詳細ではありません。
時々道をまちがえたりもします。道をまちがえても、小さな町で道の見晴らしはよく、ウォ
ーキング以外の歩行者はあまりいませんので、道の名前を地図で確認し、周りをよく見てウ
ォーカーを探せばそこそこにあるいています。なんとなく正しい道はわかるのです。迷子に
まではなりません。





水泳

大会 2 日目 3 日目には水泳もありました。本部のある La Quinta Hotel からバスに 20 分ほど乗ってプールに行きました。プールは縦 50m 横 25 ヤードの日本では見かけない大きさです。壁には近隣の高校生の記録が掲示されていました。一番早い高校生は 50 ヤードが 20 秒台でした。私たちは 50 ヤードを 7 往復して 300m の水泳達成となりました。往復した回数はプールサイドの係りの人が記録をつけてくれます。



閉会式（ 4日目 ）

23日はウォーキングを楽しんだ後、15時から市内のMAGIK THEATERで閉会式が開催されました。

IVV-Olympiadの開催旗は無事次回Olympiad開催国であるFinlandの実行委員会に無事渡されました。次期Olympiadは2025年8月14日～17日、ムーミン谷博物館のあるFinland第2の都市タンペレで開催されます。

